

基本目標	施策	めざす姿	主な取組 の数	実施でき た取組数	取組実行 率	設定した 指標の数	達成が見込 める指標の 数	指標達成率	主な事業内容	コメント
基本目標1 良好な環境を未来 につなげるまちづ くり	(1) 地域コミュニ ティの組織力強 化	●コミュニティにおける活動支援 や活動しやすい環境づくりが行わ れ、地域の連帯感や自治意識が高 まり、様々な地域コミュニティ組 織が活躍している。	2	2	100.0%	2	1	50.0%	・コミュニティ活動が活性化するためのコミュニティ活動 補助金の交付 ・コミュニティ施設の環境整備のためのふるさとづくり推 進事業	<評価> ふるさとづくり推進事業は各地域の連帯感を高め、住民自 治を進める環境を整えるという面で有効な取組であったと 考えるが、新型コロナウイルスの流行もあり、コミュニ ティ活動を活性化することができなかった。 <今後の方針> 市民ワークショップにおいて、地域コミュニティの強化に ついての発言があり、必要性が感じられることから、引き 続き地域活動の支援を進めていく。
	(2) 市民協働に よるまちづくりを 進める環境整備	●様々な活動に市民が積極的に関 わり、地域課題の解決をめざす活 発な市民活動が展開されている。 ●市民主体の国際交流活動及び国 際協力活動が活発になり、様々な 国籍や多様な文化を背景とした 人々がともに安心して暮らせる地 域となっている。	2	2	100.0%	2	0	0.0%	・納涼まつりやあいさいさん祭り等による地域交流のイベ ント。 ・市民ボランティア団体による「にほんごきょうしつお しゃべりひろば」の開催。	<評価> 指標には表れていないが、あいさいさん祭りの協賛数は増 加傾向にあり、毎年8,000人の方にご参加いただくなど活 発な市民活動の推進に寄与できたと考える。 にほんごきょうしつおしゃべりひろばは近隣市町村の外国 籍の方も多く参加しており、多文化共生の面からも交流の 場を提供することができた。 <今後の方針> 市民協働のまちづくりの視点はもちろんのこと、市内にお いて外国籍の人口の増加や社会において多様性の尊重が求 められており、誰もが住みやすい地域づくりを進めてい く。
	(3) 環境に優し いまちづくり	●市民、事業者、行政の協働によ り環境保全活動が行われている。 ●限りある資源を大切に消費する 意識が育まれている。	6	6	100.0%	2	2	100.0%	・市民によるごみゼロ運動などの環境美化活動。 ・ごみ減量・分別を啓発し、5 Rに向けた推進事業。 ・住宅用地球温暖化対策設備導入促進事業による二酸化炭 素排出抑制。	<評価> 住宅用地球温暖化対策設備導入促進事業については、毎年 100件を超える申請があり、ごみゼロ運動については、市 民の協力により毎年2,000袋前後のごみを回収できるなど 各施策において効果があった。 <今後の方針> より積極的な指標を設定し、事業周知を強化するなど事業 を継続していく。
	(4) 生活環境の 改善	●市民の健康を守り、良好な生活 環境を維持する「いつまでも安 全・快適なおいしい水を安定して 給水できる水道」の基本理念実現 のため、強靱な水道施設の構築と 持続性のある安全な水を供給して いる。 ●下水道等の整備により地域の生 活環境が改善されるとともに、公 共水域の水質が保全されている。	3	3	100.0%	3	0	0.0%	・安全・快適な水の供給、公共水域の保全のための設備整 備・維持管理事業。	<評価> 計画を進めているものの、管路の耐震化、老朽化施設の更 新等については、目標に対して遅れが生じている。 <今後の方針> 料金改定も検討しつつ、経営安定化を図るとともに、継続 的に事業を実施する。
	(1) 地域ぐるみ の防災・減災対策 の推進	●大規模な災害が発生した時で も、被害をできるだけ小さくする 「減災」の視点を盛り込んだ、総 合的かつ広域的な防災・減災対策 ができています。 ●市民の防災意識が向上し、家具 の転倒防止や備蓄品の確保、住宅 の耐震化、防災訓練への参加など の自助・共助の取組が主体的に行 われている。	5	5	100.0%	4	1	25.0%	・浸水被害防止のため、排水路の改修・維持管理事業 ・防災・減災の意識向上のため、地域防災力向上につなが る事業に対する補助金の交付事業。	<評価> 指標の目標値には及んではないが、防災メールの登録や 防災訓練の参加者はコロナ禍後増加しており、地域コミュニ ティによる防災意識の高揚を図ることができた。 <今後の方針> 引き続き防災・減災対策の事業を実施することで、災害に 備える。

基本目標	施策	めざす姿	主な取組 の数	実施でき た取組数	取組実行 率	設定した 指標の数	達成が見込 める指標の 数	指標達成率	主な事業内容	コメント
基本目標2 みんなでつくる安全・安心なまちづくり	(2) 防犯活動の推進	●関係団体等と協力・連携することで、犯罪にあわない・起こさせない・見逃さない、安心して暮らせる社会が実現している。	3	3	100.0%	3	2	66.7%	・地域と連携した見守りパトロール、防犯灯、防犯連絡メール配信を活用した防犯活動。 ・小中学校向けの防犯教室。	<評価> 指標において防犯啓発活動の実施回数としてはコロナ禍以後少なくなってしまうものの、特殊詐欺対策や自主防犯組織との連携を実施しており、犯罪発生件数は減少傾向にある。 <今後の方針> 継続して実施していく。
	(3) 消防・防火対策の推進	●被害を最小限に抑えるための地域との協力体制が構築されている。また、万が一の火災・災害・事故の際も迅速に対応できる消防・救急体制が整っている。	3	3	100.0%	2	0	0.0%	・消防のための消防車両、消防機材等の整備 ・消防団活動支援 ・救命の意識向上のための救命講習の実施 ・防火対策のため啓発活動の実施	<評価> 消防水利や消防車両等の整備を計画的に行い、消防体制の充実が図れた。 救命講習等は受講数が減少傾向にあり、周知の必要性を感じるものの、平成30年度から延べ20,134人が受講しており、地域で助け合える人材を育成できた。 <今後の方針> 継続して実施していく。
	(4) 交通安全対策の推進	●安全・安心な道路交通環境の整備や関係機関との連携による啓発、交通安全教育などにより、交通事故が起これないまちとなっている。	3	3	100.0%	5	2	40.0%	・交通事故防止のため交通安全指導員の配置。 通学路を始めとする道路の交通安全対策としてカラー塗装。	<評価> 指標の目標値には及んではないが、計画策定時に284件あった交通事故が、直近では138件に減少しており、事故が起これないまちとして一定の効果は出ていると考える。 <今後の方針> 引き続き交通安全の推進に努める。
	(1) 生涯、いきいきと暮らせる健康づくりの推進	●市民が健診の必要性を認識して健康診査を継続受診し、結果に応じた保健行動（生活習慣改善のための行動）をとることで、生涯を通じた健康づくりが実践できている。	4	4	100.0%	13	0	0.0%	・特定健康診査、後期高齢者健康診査等の保健事業。 ・運動習慣をつけるため、あいち健康プラス等の活用。	<評価> 健診の受診勧奨を行うも受診率は減少してしまったが受診者に対しては保健指導等を実施し、利用率は増加した。また、がん検診も指標の目標値には及ばなかったが、愛知県と比較すると受診率は高く、健康づくりに寄与できたと考える。 <今後の課題> 健診や早期の医療受診の必要性、生活習慣等の普及啓発を行い、健診受診率・保健指導等の利用率向上に努める。
	(2) 医療体制の充実	●それぞれの機関の役割・機能を分担しながらも連携を密にし、医療・介護・福祉間で切れ目のない、安心できる包括的な医療体制が構築されている。	2	2	100.0%	1	1	100.0%	・海南病院、津島市民病院との連携による土日祝日の救急医療体制の整備。 ・八開診療所の運営。	<評価> 医師の体調不良により安定的な診療体制を提供できなかったため、患者数が減少し、診療収入を確保することができなかった。 <今後の課題> 地域に安定した診療体制を確保する。
	(3) 社会保険の安定的運営	●公的医療保険制度のもと、病気やけがに対して「誰でも」「どこでも」「いつでも」安心して治療を受けることができ、健康を維持するための健康診査、生活習慣病の予防等の保健事業を受けることができる。	2	2	100.0%	2	1	50.0%	・公的医療保険制度（障害者等医療扶助・子ども医療扶助・母子父子家庭医療扶助・後期高齢者福祉医療扶助）による医療扶助。	<評価> 保険税の見直しや適切な収納事務の実施により収納率が向上し、社会保険の安定的運営に寄与した。 <今後の課題> 継続して実施していく。

基本目標	施策	めざす姿	主な取組 の数	実施でき た取組数	取組実行 率	設定した 指標の数	達成が見込 める指標の 数	指標達成率	主な事業内容	コメント
基本目標3 心身ともに健やか なまちづくり	(4) 子育て支援 の充実	●妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援を行うとともに、子どもの健康（生きる力）を育む支援により、子どもが健やかに成長できている。 ●地域全体が積極的に子育てに関わりを持ち、次代を担う子どもを健全に育成する環境が整っている。 ●子育て支援を通じた、愛西市らしい個性と魅力、活力の醸成をすることにより、「子育てしやすいまち・子育て世帯に選ばれるまち」となっている。	9	8	88.9%	8	6	75.0%	・多方面による子育て支援（不妊・不育症補助や産後ケアや、児童館、子育て支援センターの運営、ファミリー・サポート・センター事業、給食費の補助など）	<評価> 働く女性の増加や核家族化により、子育てのサポートを必要とする家族が増加する中、必要に応じた子育て支援を行うことができた。 <今後の予定> 安心して子育てができるよう妊娠、出産、子育ての切れ目ない支援を進めていく。
	(5) 障害者 (児) 福祉の推進	●関係機関の連携とサービス基盤の充実により障害のある人がライフステージに応じた支援が受けられ、障害の有無によって分け隔てられることなく、互いに人格と個性を尊重し合いながら共生する社会が実現している。	3	3	100.0%	2	2	100.0%	・障害者（児）福祉サービス等の利用支援 ・障害者（児）等への相談・支援体制の整備 ・障害者の就労支援	<評価> 令和4年度に発達支援センターを開設し、相談支援体制を拡充した。発達支援センターの利用者満足度も95%を超えており、適切な支援ができたと考える。 <今後の予定> 障害者（児）に対する様々な支援を継続して実施する。 障害者（児）の地域社会への参加・包容を推進する。
	(6) 介護・高齢 者福祉の推進	●介護保険事業の円滑な実施・運営や支え合いのコミュニティづくりにより、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられる地域包括ケアシステム※が形成されている。 ※地域包括ケアシステム：高齢者が地域で自立した生活を営めるよう、医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスが一体的に提供される体制のこと。	3	3	100.0%	2	1	50.0%	・住み慣れた地域での暮らしのために、見守り事業、配食サービス事業、高齢者福祉タクシー料金助成事業等により支援。 ・一般介護予防事業、生活支援サービス事業の充実や必要な介護保険サービス利用による重度化防止の推進。	<評価> 高齢者のニーズを加味した事業の見直しをし、自立した日常生活を営む支援ができた。また、さらなる介護予防や生活支援サービスに取り組むことができた。 <今後の方針> 高齢化社会に対応できるよう継続して事業を実施していく。
	(7) 生活自立の 推進	●やる気のあるすべての市民が、性別、年齢、能力、障害の有無に関わらず経済的に自立できるようになっている。	1	1	100.0%	2	2	100.0%	・自立体制の確立のため、生活保護や生活困窮者の相談窓口等を設け、就労支援や家計改善支援の実施。	<課題> 生活困窮者が自立できるための相談支援はニーズが高く、有効な事業だったと考える。 <今後の方針> ハローワークなどと連携した就労支援等を実施する。 重層的支援体制を活用し、複合的な課題のある困窮者の支援を行っていく。
	(1) 商工業、新 規産業の振興	●多様な人が生きがいを持って働くことができる環境となり、市内で安定した雇用が確保されている。 ●市内に優良な企業が誘致され、財源の確保や雇用機会の充実につながっている。	3	3	100.0%	2	0	0.0%	・愛西佐織地区工業団地を整備。 ・移住・起業補助金の交付による、商工業の活性化促進。	<評価> 計画通り佐織地区に工業団地を整備し、5区画の企業を誘致することで、雇用の創出を試みたが、工業団地内での市内雇用を思いのほか生み出すことができず、今後の課題となった。 <今後の方針> 更なる企業誘致に努める。

基本目標	施策	めざす姿	主な取組 の数	実施でき た取組数	取組実行 率	設定した 指標の数	達成が見込 める指標の 数	指標達成率	主な事業内容	コメント
基本目標4 活力とにぎわいあ ふれるまちづくり (産業)	(2) 農業の振興	●愛西市で農業を営む市民が安定 かつ持続可能な農業経営を行えて いる。	5	4	80.0%	1	1	100.0%	・道の駅を始めとする直売所で地元農産物やブランド野菜 の啓発による地域産業の活性化。 ・新規就農総合支援事業（新規就農者に対して最大3年間補 助）	<評価> 新規就農者補助は毎年2, 3名に対し補助を行い、農業の 担い手を確保した。第6次産業化推進の支援については相 談はあったが、認定までは至らなかった。 <今後の方針> 新規就農者が安定した経営運営を営めるよう愛西市・JA・ 愛知県のサポート体制を継続していく。
	(3) 農業生産基 盤の整備	●農業用排水施設の計画的な整 備や維持管理により、農業の生産 性が向上し、安定的な農業生産が できている。	1	1	100.0%	1	0	0.0%	・土地改良区と連携した農業用排水施設の整備。 ・農業・農村が持つ多面的機能の維持・推進のための交付 金制度。	<評価> 指標の目標値には及んではないが、老朽化した農業用 排水施設を計画的に更新することで安定的な農業生産と浸 水対策の強化につなげることができた。 <今後の方針> 農業用排水施設の計画的な整備・維持管理を推進する。
	(4) 観光の振興	●様々な媒体を活用した情報発信 により、愛西市の魅力が市内外に 伝わっている。 ●周辺市町村との連携のもとで、 たくさんの人が訪れる魅力ある観 光地となっている。	4	4	100.0%	1	0	0.0%	・観光協会と連携した市の観光PRや情報発信。 ・観光拠点としての道の駅と都市公園をあわせ、市内外に 対して市の魅力を発信。	<評価> コロナ禍や道の駅リニューアル工事等の影響により、道の 駅の来場者数は目標値には届かなかったが、多くの方に訪 れてもらい、市の魅力ある観光地の一つとなった。 <今後の方針> グランドオープンした道の駅を中心に更なる観光の振興を 図る。 各種SNS等を活用して、シティプロモーションに力を入れ ていく。
基本目標5 快適で便利なまち づくり	(1) 道路網の整 備	●都市間・地域間の道路網が整備 され、歩行者と車両の双方にとっ て安心で安全な道路環境となっ ている。 ●市内各鉄道駅と弥富インター チェンジを中心に、一体的な交通 体系が構築されている。	3	2	66.7%	2	1	50.0%	・誰もが安全に安心して通行できる道路整備。 ・都市計画道路網の見直し。	<評価> 優先順位を見極めたうえで、計画的に道路の拡幅工事や舗 装工事を進め安全な道路環境の整備を推進することができ た。 都市間・地域間網の整備・充実については、本市の都市計 画道路は進捗できなかったが、国が進める一宮西港道路、 県が進める木曽川長良川新架橋の建設に向けて地元周知を 図ることができた。 <今後の方針> 引き続き道路網の整備を推進する。
	(2) 公共交通網 の整備・充実	●高齢者や障害のある人、子ども なども含め、あらゆる市民にとっ て利用しやすい公共交通網が整備 されている。	2	2	100.0%	1	0	0.0%	・アンケート実施による、巡回バスの時刻表やルート見直 し。	<評価> 巡回バスの巡回ルートの検討等を行い、公共交通網の充実 に努めたが、新型コロナウイルスの影響もあり、利用者数 は指標に達成せず、結果に繋げることができなかった。 <今後の方針> 巡回バスだけでなくタクシー料金助成や買い物支援バスな どを含めた総合的な移動支援の検討を進める。
	(3) 公園、緑地 の整備	●身近な公園が自然とのふれあい や人々が和み、憩える空間となっ ている。 ●安全・安心に楽しく遊べる児童 遊園やちびっこ広場が整備され、 子どもたちが遊びを通して心身の 発達や自主性、創造性、社会 性などを身につけている。	2	2	100.0%	2	0	0.0%	・子どもたちが安全・安心遊ぶため、遊具の更新や必要な 修繕の実施。	<評価> 遊具の老朽化に伴い、不良箇所が近年大きく増加傾向にあ る中、計画的に更新・修繕することで市民の住環境を高め る環境整備を推進することができた。 <今後の方針> 引き続き公園の維持管理を計画的に進めることで、より多 くの人の憩いの空間としていく。

基本目標	施策	めざす姿	主な取組 の数	実施でき た取組数	取組実行 率	設定した 指標の数	達成が見込 める指標の 数	指標達成率	主な事業内容	コメント
	(4) 計画的なまちづくりの推進	●人口減少、少子高齢化に対応した都市計画により、持続可能で市民の生活満足度が高い「集約型のまちづくり」が実現している。 ●空家等の適正管理と有効活用により、まちの景観や生活環境が保全されている。	5	4	80.0%	1	0	0.0%	・ 鉄道駅を中心とした「集約型のまちづくり」を目指し、市街地整備事業を推進。 ・ 景観保持のため、空き家の適切な管理を推進。	<評価> 優先的に市街地整備を図るべき拠点として設定した対象地域との意見交換会に向け、課題整理を行うことができた。 【空家等実態調査】を行い、より効果的な施策検討に向け、分布状況や建物用途等を把握することができた。 <今後の方針> 対象地域ごとに機運醸成を図りつつ「まちづくりビジョン」を検討し、優先的市街地整備地区の設定を目指す。 引き続き、空き家の適正な管理を推進していく。
基本目標6 一人ひとりの学びを支えるまちづくり	(1) 学校教育の推進	●適正な学校規模で、児童生徒一人ひとりに向き合った教育が行われている。	11	11	100.0%	3	1	33.3%	・ 学校施設の適正規模・老朽化対策事業。 ・ 中学生体験学習事業や外国語指導助手の派遣など教育の質の向上。	<評価> 少子化や子どもたちの多様化が進む中で、全ての子どもたちに適した教育の提供に努めてはいるが、適正規模及び老朽化対策について進捗状況は思わしくなかった。 <今後の方針> これまでの成果を踏まえつつ、学校教育に新たに求められる要素をさらに加えた「めざす姿」を設定し、着実に取り組む。
	(2) 生涯学習、文化、スポーツ活動の推進	●一人ひとりが豊かな人生を送ることができるよう、生涯を通して意欲的に学ぶ環境づくりができ、学習成果を生かしたボランティア活動を支援し地域の活性化や発展につながっている。 ●市内の良好な施設環境の中で幅広い世代が様々な種目のスポーツに定期的・継続的に取り組み、スポーツを通じて健康・体力づくりの促進、地域のコミュニティ形成が行われている。	8	7	87.5%	5	0	0.0%	・ 生涯学習の充実（生涯学習講座や、市内高校との連携講座など充実） ・ 文化会館・公民館・図書館の適切な施設管理。 ・ 体育施設をはじめとするスポーツ施設の維持管理。 ・ レガッタ等特色あるスポーツの普及。	<評価> 受講者アンケートの内容を参考にしながら講座の内容を決定し、参加者の増加に努めた。 総合型地域スポーツクラブについては、SNSを活用したPRにより会員の増加に努めた。新型コロナウイルスの影響を受け、指標の目標値には及ばなかったものの、コロナ禍後は増加傾向にある。 <今後の方針> 多様な学習や文化、スポーツ種目を取り入れた事業を展開し、幅広い世代が活動できる場を提供していく。
基本目標7 市民に信頼される、安定した行財	(1) 行政サービスの向上	●職員一人ひとりの資質が向上し、少数精鋭の職員で効果的な行財政運営、社会経済情勢の変化に柔軟に対応した行政サービスの提供ができる組織となっている。 ●適切な情報管理が行われ、透明性・公平性が高い行政サービスが提供されている。 ●市民の視点に立った行政サービスや窓口業務の充実が図られ、市民サービスの利便性が向上している。	3	3	100.0%	1	1	100.0%	・ 職員研修を実施し、研修機会を提供。 ・ 電子入札の推進。 ・ 行政窓口でのキャッシュレス化（マイナンバーカードを使ったオンライン申請や申請書作成支援など）	<評価> 職員が必要な知識を習得するため、研修機会を提供し、職員の能力向上に繋がった。 電子入札執行率は9割以上になった。 様々な行政サービスや窓口業務の充実が図られ、市民サービスの利便性を向上できた。 <今後の方針> DXを活用した行政サービスの提供に努める。
	(2) 公共施設等の管理・運営	●公共施設等マネジメントの積極的な取り組みによる維持管理費の節減や民間活力の推進等により、現状の公共建築物の総延床面積が削減されている。	2	2	100.0%	1	0	0.0%	・ 公有財産の有効活用、適正管理。 ・ 財政負担の軽減を図るため、公共施設の適正配置。（農村環境改善センターや永和保育園、旧立田社会福祉会館など、公共施設の総延床面積を約0.8万㎡削減）	<評価> 公共施設の総延床面積について、一定の削減は図られたものの、全体としては目標には届かず、進捗は限定的にとどまっている。 <今後の方針> 施設の利用実態や維持管理コスト等を踏まえながら、優先順位を明確にし、計画的かつ着実に縮減を推進していく。

基本目標	施策	めざす姿	主な取組 の数	実施でき た取組数	取組実行 率	設定した 指標の数	達成が見込 める指標の 数	指標達成率	主な事業内容	コメント
政運営	(3) 行財政運営 の推進	●市民と行政が行財政改革の必要性や目標を共有し、多様な担い手が適切に役割分担し、幅広く連携・協働した取組が行われている。 ●限られた市行政の経営基盤を最大限に活用することにより、行政サービスの費用対効果が向上している。	4	4	100.0%	3	1	33.3%	・新たな自主財源確保（企業誘致の推進やネーミングライツ） ・ふるさと応援寄附金事業	<評価> 実質公債費比率では目標値に届かなかったものの経常収支比率は目標を上回る結果となった。 <今後の方針> 合併特例債も終わりを迎え、近年の物価高騰や人件費上昇や高齢化社会における扶助費が増額していく中、新たな自主財源確保に努めるとともに限りある財源の中で効果的で効率的な市民サービスを目指す。
	(4) 地域情報化 の推進と広域連携 の推進	●ICT環境が整い、情報発信・情報の取得がしやすくなっている。 ●市内外の様々な人に、市政情報や市の魅力ある情報が広く提供されるとともに、市民と行政の双方向型のコミュニケーションが活発化している。 ●自治体連携の推進を図ることにより海部圏域の魅力が高まり、より多くの人が愛西市に訪れている。	3	3	100.0%	3	3	100.0%	・市民意見聴取の機会を提供（パブリックコメントやふれあい箱） ・市のホームページを活用した広報活動。	<評価> ホームページの閲覧件数について指標の目標値を達成しており、市の公式SNSの開設により市内外に魅力ある情報を発信することができた。 <今後の方針> 関係人口創出を狙った市のPRも含め、引き続き地域情報化を進めていく。

現計画(第2次総合計画)														⇒判定(定性評価)
基本目標	施策	指標	起点値 H28	中間値 H30	中間値 R1	中間値 R2	中間値 R3	中間値 R4	中間値 R5	最新値R6	中間目標 R3	最終目標 R7	単位	指標達成状況の評価
基本目標 1 良好な環境を未来につなげるまちづくり	(1)地域コミュニティの組織力強化	コミュニティの設置数	10	10	10	10	9	9	8	8	11	12	か所	B:目標値を下回った
		集会所等の維持修繕等、備品購入の事業件数	28	39	39	28	37	33	23	28	28	28	件	A:目標値を達成した(または最終年度に達成の可能性あり)
	(2)市民協働によるまちづくりを進める環境整備	地域活動に参加している市民の割合	22.2	N/A	N/A	24.7	N/A	N/A	N/A	23.8	25.0	28.0	%	B:目標値を下回った
		国際交流事業参加者数	400	364	387	205	244	255	301	279	450	500	人	B:目標値を下回った
	(3)環境に優しいまちづくり	家庭ごみの回収量(可燃物ごみ)	10,244	9,967	10,168	10,223	10,149	10,022	9,527	9,325	10,108	10,000	t	A:目標値を達成した(または最終年度に達成の可能性あり)
		地球温暖化対策設備導入補助件数	950	1112	1,242	1,348	1463	1,568	1,694	1,820	1,450	1,850	件	A:目標値を達成した(または最終年度に達成の可能性あり)
	(4)生活環境の改善	管路の耐震化率(愛西市水道事業)	3.7	5.6	5.9	6.6	7.0	8.1	9.3	10.2	8.0	12.0	%	B:目標値を下回った
		管路の耐震化率(海部南部水道企業団)	9.9	12.4	13.7	14.9	15.9	17.0	17.8	18.7	16.0	22.0	%	B:目標値を下回った
		污水处理人口普及率	81.6	83.2	83.8	85.2	86.8	87.6	88.1	88.72	85.8	93.5	%	B:目標値を下回った
基本目標 2 みんなでつくる安	(1)地域ぐるみの防災・減災対策の推進	防災メール等の登録者数	7,862	10,166	12,047	10,746	10,907	11,196	11,457	11,211	10,000	12,000	人	A:目標値を達成した(または最終年度に達成の可能性あり)
		家庭での防災の備えができている市民の割合	34.5	N/A	N/A	42.6	N/A	N/A	N/A	57.0	50.0	60.0	%	B:目標値を下回った
		防災訓練への市民等の参加人数	1,127	1,020	710	未実施	未実施	112	303	149	1,200	1,300	人	D:その他
		防災啓発事業への市民等の参加人数	350	338	未実施	未実施	214	N/A	273	未実施	400	550	人	D:その他
	(2)防犯活動の推進	犯罪発生件数	469	386	343	229	222	234	245	249	365	300	件	A:目標値を達成した(または最終年度に達成の可能性あり)
		防犯啓発活動の実施回数	21	19	21	未実施	2	1	1	1	23	28	件	D:その他
		防犯教室の回数	32	41	37	24	25	34	39	39	34	36	回	A:目標値を達成した(または最終年度に達成の可能性あり)

現計画(第2次総合計画)														⇒判定(定性評価)
基本目標	施策	指標	起点値 H28	中間値 H30	中間値 R1	中間値 R2	中間値 R3	中間値 R4	中間値 R5	最新値R6	中間目標 R3	最終目標 R7	単位	指標達成状況の評価
全・安心なまちづくり	(3)消防・防火対策の推進	住宅用火災警報器普及率	61.0	67.0	74.0	76.0	77.5	76.0	76.0	79.4	79.5	81.2	%	B:目標値を下回った
		救命講習等受講者数	6,730	6,307	5,289	798	1,336	2,679	1,925	1,800	7,300	8,000	人	B:目標値を下回った
	(4)交通安全対策の推進	交通事故発生件数(人身事故)	284	201	184	177	120	121	138	138	200	100	件	B:目標値を下回った
		交通事故発生件数(負傷者)	369	243	226	234	154	157	155	159	250	150	人	A:目標値を達成した(または最終年度に達成の可能性あり)
		交通事故発生件数(死亡者)	2	1	2	1	2	0	2	2	0	0	人	A:目標値を達成した(または最終年度に達成の可能性あり)
		小中学生の交通事故件数	7	11	8	5	6	6	5	5	5	3	件	B:目標値を下回った
		通学路の安全点検回数	89	95	87	70	69	70	78	78	100	110	回	B:目標値を下回った
	(1)生涯、いきいきと暮らせる健康づくりの推進	特定健康診査受診率(国民健康保険)	42.4	41.7	45.4	33.8	42.8	42.6	42.0	49.4	50.0	60.0	%	B:目標値を下回った
		がん検診受診率(胃がん)	23.5	21.7	20.7	15.1	17.8	18.3	17.6	17.1	30.0	40.0	%	C:目標値を大幅に下回った
		がん検診受診率(子宮がん)	17.0	15.3	15.3	13.4	15.6	17.3	16.7	15.9	35.0	50.0	%	C:目標値を大幅に下回った
がん検診受診率(乳がん)		16.7	14.2	14.1	12.4	13.3	15.5	15.4	17.3	35.0	50.0	%	C:目標値を大幅に下回った	
がん検診受診率(大腸がん)		34.2	30.8	31.9	24.6	28.6	31.5	30.2	30.2	40.0	40.0	%	B:目標値を下回った	
がん検診受診率(肺がん)		35.0	31.5	32.4	26.6	29.7	32.4	31.7	31.8	40.0	40.0	%	B:目標値を下回った	
あいさい健康マイレージ事業の参加者(実人数)		703	770	884	812	869	931	570	568	900	1,000	人	C:目標値を大幅に下回った	
特定保健指導利用率(国民健康保険)(動機づけ支援)		22.2	26.0	18.3	18.1	11.6	15.3	22.8	13.1	25.0	30.0	%	B:目標値を下回った	
特定保健指導利用率(国民健康保険)(積極的支援)		16.8	11.0	7.2	4.5	11.6	3.4	8.3	8.7	18.0	20.0	%	C:目標値を大幅に下回った	
MR混合ワクチン接種率(1期)	95.3	105.0	99.5	95.3	85.4	99.1	94.6	84.0	100.0	100.0	%	B:目標値を下回った		

現計画(第2次総合計画)														⇒判定(定性評価)
基本目標	施策	指標	起点値 H28	中間値 H30	中間値 R1	中間値 R2	中間値 R3	中間値 R4	中間値 R5	最新値R6	中間目標 R3	最終目標 R7	単位	指標達成状況の評価
基本目標 3 心身ともに健やかなまちづくり		MR混合ワクチン接種率(2期)	95.2	96.8	96.6	96.8	94.3	95.9	92.6	94.1	100.0	100.0	%	B:目標値を下回った
		進行した歯周炎を有する者の割合(40歳)	50.0	24.2	27.0	19.6	41.2	38.6	27.1	40.9	30.0	25.0	%	B:目標値を下回った
		健康教育の参加人数	1,073	1,104	989	178	419	137	172	1,753	1,100	1,200	人	B:目標値を下回った
	(2)医療体制の充実	八開診療所からの紹介患者数	68	86	96	50	68	54	66	39	80	90	人	A:目標値を達成した(または最終年度に達成の可能性あり)
	(3)社会保険の安定的運営	国民健康保険の1人当たりの医療費(保険給付費)	277,266	302,682	315,052	301,605	327,947	347,379	364,306	361,165	277,000	277,000	円	C:目標値を大幅に下回った
		国民健康保険税の収納率	94.66	96.14	96.25	96.33	96.37	96.02	96.86	96.46	94.80	95.00	%	A:目標値を達成した(または最終年度に達成の可能性あり)
	(4)子育て支援の充実	乳幼児健康診査受診率(3か月)	98.6	98.5	98.3	100.0	98.7	96.6	101.1	97.3	100.0	100.0	%	A:目標値を達成した(または最終年度に達成の可能性あり)
		乳幼児健康診査受診率(1歳6か月)	102.2	98.1	95.5	97.0	98.3	98.8	98.4	98.2	100.0	100.0	%	B:目標値を下回った
		乳幼児健康診査受診率(3歳)	97.7	97.3	96.8	99.5	95.2	98.8	98.0	92.5	98.0	98.5	%	A:目標値を達成した(または最終年度に達成の可能性あり)
		保育園等による一時預かり件数	55	143	102	47	68	71	69	56	60	65	件	A:目標値を達成した(または最終年度に達成の可能性あり)
		3歳児健康診査においてむし歯のない児の割合	91.4	92.0	92.1	94.1	94.2	95.1	93.7	94.6	93.0	95.0	%	A:目標値を達成した(または最終年度に達成の可能性あり)
		3歳児健康診査において子育ての相談相手がいる人の割合	98.6	97.5	96.9	96.7	97.6	97.1	96.5	96.8	98.8	99.0	%	B:目標値を下回った
		ファミリー・サポート・センター提供会員数	128	151	161	166	179	204	217	223	150	180	人	A:目標値を達成した(または最終年度に達成の可能性あり)
		子どもの心の健康づくり事業実施率(いのちの授業、二分の一成人式、保育園講演会)	100.0	100.0	100.0	85.0	95.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	%	A:目標値を達成した(または最終年度に達成の可能性あり)
	(5)障	相談支援事業所の相談者数	88	84	108	107	110	120	125	141	110	130	人	A:目標値を達成した(または最終年度に達成の可能性あり)

現計画(第2次総合計画)														⇒判定(定性評価)
基本目標	施策	指標	起点値 H28	中間値 H30	中間値 R1	中間値 R2	中間値 R3	中間値 R4	中間値 R5	最新値R6	中間目標 R3	最終目標 R7	単位	指標達成状況の評価
	害者(児)福祉の推進	共同生活援助(グループホーム)の利用者数	55	66	84	108	117	128	139	146	75	95	人	A:目標値を達成した(または最終年度に達成の可能性あり)
	(6)介護・高齢者福祉の推進	多様なサービスが提供できる実施機関の数	N/A	9	15	13	22	20	21	28	20	30	か所	B:目標値を下回った
		在宅医療連携システムの登録数	61	82	80	83	97	99	104	103	65	75	か所	A:目標値を達成した(または最終年度に達成の可能性あり)
	(7)生活自立の推進	生活困窮者自立相談支援件数	66	41	49	93	80	152	135	109	80	100	件	A:目標値を達成した(または最終年度に達成の可能性あり)
生活保護者就労支援人数		7	7	12	8	12	15	13	17	10	10	人	A:目標値を達成した(または最終年度に達成の可能性あり)	
基本目標4 活力とにぎわいあふれるまちづくり(産業)		工業団地に立地する企業数	N/A	0	0	2	2	5	5	5	5	10	企業	B:目標値を下回った
		(1)商工業、新規産業の振興	N/A	0	0	3	4	5	5	8	60	120	人	C:目標値を大幅に下回った
	(2)農業の振興	新規就農者数(親元就農含む)	10	40	47	47	47	49	52	55	24	48	人	A:目標値を達成した(または最終年度に達成の可能性あり)
	(3)農業生産基盤の整備	農業用水管の更新延長	36.8	55.1	63.1	71.7	85.2	91.2	102.5	103.8	127.6	210.7	km	B:目標値を下回った
	(4)観光の振興	「道の駅」の来場者数	252,004	218,439	211,946	204,402	191,372	190,081	182,709	164,147	270,000	280,000	人	B:目標値を下回った
基本目標5 快適で便利なまちづくり	(1)道路網の整備	市道の改良延長	327	333	334	336	336	337	337	338.5	333	337	km	A:目標値を達成した(または最終年度に達成の可能性あり)
		都市計画道路の改良率	33	33	33	33	33	33	33	33	36	40	%	B:目標値を下回った
	(2)公共交通網の整備・充実	巡回バス利用者数	115,447	123,180	112,801	65,100	77,479	78,650	78,986	78,528	122,000	124,000	人	B:目標値を下回った
	(3)公園、緑地の整備	遊具の点検結果による修繕が必要な数	28	27	27	56	52	164	168	156	15	5	か所	C:目標値を大幅に下回った
		都市公園における人口1人当たりの供用面積	7.9	8.6	8.6	8.6	8.8	8.8	8.9	9	8.8	9.8	m ²	B:目標値を下回った
(4)計画的なまちづくりの推進	管理不全な空家の改善件数	7	16	21	29	36	37	19	10	25	30	件	B:目標値を下回った	
		学校が楽しいと思う児童生徒の割合	82.7	N/A	N/A	86.0	N/A	N/A	N/A	80.7	85.0	87	%	B:目標値を下回った

現計画(第2次総合計画)														⇒判定(定性評価)
基本目標	施策	指標	起点値 H28	中間値 H30	中間値 R1	中間値 R2	中間値 R3	中間値 R4	中間値 R5	最新値R6	中間目標 R3	最終目標 R7	単位	指標達成状況の評価
基本目標 6 一人ひとりの学びを支えるまちづくり	(1)学校教育の推進	学校トイレの洋式化率	30.4	36.4	37.8	42.8	52.6	55.3	55.7	55.7	59.0	79	%	B:目標値を下回った
		学校施設の非構造部材耐震化率	47.8	65.2	73.9	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	91.0	100	%	A:目標値を達成した(または最終年度に達成の可能性あり)
	(2)生涯学習、文化、スポーツ活動の推進	生涯学習講座・教室の参加者数	3,024	3,388	3,474	1,180	1,563	1,948	2,050	2,641	3,100	3,200	人	B:目標値を下回った
		スポーツ施設利用者数(屋内)	220,427	210,546	194,998	118,035	139,856	155,857	165,074	161,145	222,500	225,000	人	B:目標値を下回った
		スポーツ施設利用者数(屋外)	116,810	106,597	95,973	71,868	81,224	82,374	81,063	45,412	118,000	119,000	人	B:目標値を下回った
		体育協会加盟団体登録者数	4,052	3,755	3,529	3,311	3,351	3,182	3,075	3,023	4,060	4,070	人	B:目標値を下回った
		総合型地域スポーツクラブ参加者数	403	358	362	357	360	374	333	306	800	800	人	B:目標値を下回った
基本目標 7 市民に信頼される、安定した行財政運営	(1)行政サービスの向上	電子入札執行率	82.9	87.1	88.5	89.0	91.0	93.0	96.8	92.3	85.0	88.0	%	A:目標値を達成した(または最終年度に達成の可能性あり)
	(2)公共施設等の管理・運営	公共施設等総合管理計画 [公共建築物延床面積(累計・年度末時点)]	220,000	215,000	215,000	220,000	213,000	213,000	213,000	212,000	209,000	198,000	m ²	B:目標値を下回った
	(3)行財政運営の推進	実質公債費比率	4.0	4.1	4.2	4.1	4.2	4.5	4.8	集計中	5.1	3.1	%	B:目標値を下回った
		経常収支比率	86.0	87.2	87.8	90.7	87.5	91.7	94.4	集計中	94.9	96.2	%	A:目標値を達成した(または最終年度に達成の可能性あり)
		市税の収納率(市民税・固定資産税・軽自動車税・市たばこ税の合計)	98.55	99.00	99.06	99.15	99.22	99.14	99.21	99.25	98.58	99.35	%	B:目標値を下回った
		市ホームページトップページへの閲覧件数(旧)※システム変更によりカウント方法を変更	447,933	1,733,525	1,532,976	2,482,699	3,113,029	2,075,825	2,022,021	集計方法を変更のため数値なし	500,000	550,000	件	S:目標値を大幅に上回って達成した

現計画(第2次総合計画)														⇒判定(定性評価)
基本目標	施策	指標	起点値 H28	中間値 H30	中間値 R1	中間値 R2	中間値 R3	中間値 R4	中間値 R5	最新値R6	中間目標 R3	最終目標 R7	単位	指標達成状況の評価
	(4)地域情報化の推進と広域連携の推進	市ホームページへの閲覧件数(新)※システム変更によりカウント方法を変更	167,793	166,115	153,530	495,713	636,781	449,119	399,569	657,592	180,000	190,000	件	S:目標値を大幅に上回って達成した
		広域連携事業数	122	133	155	168	173	174	183	173	130	140	件	S:目標値を大幅に上回って達成した